

表紙, 目次, 奥付等

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2018-08-17 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10470/00032020



東京女子医科大学雑誌

JOURNAL OF TOKYO WOMEN'S MEDICAL UNIVERSITY

東京女子医科大学医学部衛生学公衆衛生学(二)講座 講座主任
山口直人教授退任記念特別号
診療ガイドライン特集

巻頭言……………山口直人… E1

■総説

診療ガイドラインの今・これから……………中山健夫… E2- E9

日本における系統的レビュー(コクラン)と

医療技術評価と診療ガイドライン……………森臨太郎… E10- E15

かかりつけ医によるガイドラインの活用について……………近藤太郎… E16- E18

信頼される産業保健分野における

ガイダンスの作成方法……………小島原典子・清原康介・佐藤康仁・

遠藤源樹・河合富士美・森實敏夫・山口直人… E19- E26

Minds (medical information network distribution service) における

診療ガイドライン作成支援とFAQ

(frequently asked questions) ……………佐藤康仁・畠山洋輔・

森實敏夫・遠藤源樹・

清原康介・小島原典子・山口直人… E27- E34

診療ガイドライン推奨作成のための合意形成法

—Delphi法についての調査報告— ……………吉田雅博… E35- E37

バイアスを可視化する……………森實敏夫・小島原典子… E38- E46

あとがき

…東京女子医科大学医学部衛生学公衆衛生学(二)講座 一同… E47

2018

Vol.88 No.Extra 1

ISSN 0040-9022

東女医大誌

J Tokyo Wom Med Univ

第88巻 臨時増刊1号 平成30年1月31日

東京女子医科大学学会

SOCIETY OF TOKYO WOMEN'S MEDICAL UNIVERSITY

JOURNAL OF TOKYO WOMEN'S MEDICAL UNIVERSITY

(TOKYO JOSHI IKADAIGAKU ZASSHI)

Volume 88 Number Extra 1
January 31, 2018
ISSN 0040-9022

Society of Tokyo Women's Medical University
8-1, Kawada-cho, Shinjuku-ku, Tokyo 162-8666, JAPAN
Tel: 81-3-3353-8111 (ext. 22314) E-mail: gakkai.bi@twmu.ac.jp

Special Issue in Honor of the Retirement of Professor Naohito Yamaguchi at the Department of Public Health, School of Medicine, Tokyo Women's Medical University Development of Clinical Practice Guidelines in Japan

Foreword

Naohito YAMAGUCHI. E1

Reviews

Clinical Practice Guidelines: Present and Future

Takeo NAKAYAMA. E2-E9

Cochrane Systematic Review, Health Technology Assessment, and Clinical Practice Guidelines in Japan

Rintaro MORI. E10-E15

Utilization of Guidelines by Kakaritsuke Physicians

Taro KONDO. E16-E18

Development of Evidence-based Guidelines in the Occupational Health Field

Noriko KOJIMAHARA, Kosuke KIYOHARA, Yasuto SATO,
Motoki ENDO, Fujimi KAWAI, Toshio MORIZANE,
Naohito YAMAGUCHI. E19-E26

Supporting the Development of Clinical Practice Guidelines Using the Medical Information Network Distribution Service (Minds) Manual and Frequently Asked Questions

Yasuto SATO, Yosuke HATAKEYAMA, Toshio MORIZANE,
Motoki ENDO, Kosuke KIYOHARA, Noriko KOJIMAHARA,
Naohito YAMAGUCHI. E27-E34

Formulating Consensus for the Development of Clinical Practice Guidelines using the Delphi Method

Masahiro YOSHIDA. E35-E37

Visualizing Bias Effects

Toshio MORIZANE, Noriko KOJIMAHARA. E38-E46

Afterword

All the staff at the Department of Public Health,
School of Medicine, Tokyo Women's Medical University E47

下記の企業（五十音順）には掲載協賛にご協力いただき、ありがとうございました。
心から御礼申し上げます。

株式会社インターメディカ
株式会社デリバリーコンサルティング
株式会社 Funkit
同仁医薬化工株式会社

あとがき

平成 30 年 3 月末をもって、山口直人教授・講座主任が、東京女子医科大学医学部衛生学公衆衛生学（二）講座を退任されます。

山口直人教授は、昭和 53 年慶應義塾大学を卒業され、直ちに同大学衛生学教室に入室されました。昭和 58 年産業医科大学環境疫学教室に移られ、米国カリフォルニア大学公衆衛生学部、米国ノースキャロライナ大学公衆衛生学部での海外研究留学を経て、助教授に昇進されています。その後、国立がんセンター研究所がん情報研究部部長時代から総務省（旧郵政省）生体電磁波研究に関わられています。平成 14 年 1 月に私たちの教室に移られてからも電磁波とがんの疫学研究の第一人者として、私たち教室員に多くの経験の機会を与えてくださいました。

本論文集は、山口直人教授のもう一つの功績の柱である、厚生労働省委託事業 Minds 診療ガイドラインについて学内外の成果をまとめました。公益財団法人日本医療機能評価機構で本事業を推進されてきた山口直人教授は、我が国の診療ガイドラインの質の向上のために尽くされ、Guideline international network のアジア代表を務めるなど国際化にも大きく貢献しました。私たち教室員は、山口直人教授のご指導の下、疫学研究の知識・技術だけでなく、学問に対する真摯な姿勢を学んで参りました。

その成果として、山口直人教授退任記念特別号を出版させていただくことができ、編集委員会の皆様、査読をご担当いただいた先生方、東京女子医科大学学会室に心より感謝申し上げます。また、教室秘書の本間奈美様、神林恵理様には多大な援助をいただきました。温かいご支援をいただきましたすべての皆様に心より深謝いたします。

（東京女子医科大学医学部衛生学公衆衛生学（二）講座 一同）

編集担当幹事：阿部光一郎	江川裕人○	渕之上昌平	萩原誠久	林 和彦	平澤恭子
稲田 健	石田英樹	神尾孝子○	糟谷英俊	木林和彦	北川一夫
松井英雄	森本 聡	南家由紀	野中 学	櫻井裕之	澤田達男◎
篠崎和美	杉原茂孝	杉下智彦	玉置 淳	田中淳司	谷口敦夫
徳重克年	内田啓子	山口直人	(ABC 順, ◎幹事長, ○副幹事長)		

東京女子医科大学雑誌第 88 巻臨時増刊 1 号

東京女子医科大学医学部衛生学公衆衛生学(二)講座 講座主任 山口直人教授退任記念特別号 診療ガイド
ライン特集：平成 30 年 1 月 31 日発行

Journal of Tokyo Women's Medical University Vol. 88 No. Extra 1

Special Issue in Honor of the Retirement of Professor Naohito Yamaguchi

at the Department of Public Health, School of Medicine, Tokyo Women's Medical University

Development of Clinical Practice Guidelines in Japan: January 31, 2018

発行者：吉岡俊正

発行所：東京女子医科大学学会

事務局：〒162-8666 東京都新宿区河田町 8-1 東京女子医科大学 中央校舎 3 階 学会室

Tel & Fax : 03-5269-7403/E-mail : gakkai.bi@twmu.ac.jp

購読料：年会費 6,000 円に含む。1 冊定価 1,000 円 (税・送料共)

振込先：(銀行振込) 東京女子医科大学学会 会長 吉岡俊正

三菱東京 UFJ 銀行 東京女子医大出張所 普通 3643723

(郵便振替) 東京女子医科大学学会 00150-4-4342

印刷：株式会社杏林舎 〒114-0024 東京都北区西ヶ原 3-46-10 Tel : 03-3910-4311/Fax : 03-3949-0230

* 本誌の内容を無断で複写・複製すると、著作権・出版権の侵害になりますのでご注意ください。

RPA* ソリューション業務自動化ツール

ipaS アイバス

毎度お決まりの仕事は「ipaS」にお任せください

*RPA= Robotic Process Automation (ロボティック・プロセス・オートメーション)

このような悩みをお持ちではありませんか？

悩み 1
月末の大量データ入力で
従業員の残業が
増えている

悩み 2
入力不備により
作業のやり直しが
発生している

悩み 3
分断されたシステムにより
業務に時間が
かかっている

データ入力や情報収集・集計といった定型業務が増えるにつれその業務に時間がかかり
経営情報のスピーディーな把握ができなかったり、入力ミスなどによる
作業の品質低下や残業などのコストが
発生しています。

ipaSなら既存の業務・システムを変えることなく
品質向上・スピードアップ・コスト削減を実現！

複数システムへの入力を一括自動化、
大量データの連続処理も
可能です。

自動処理により入力や操作ミスが低減、
業務品質の改善と生産性を
向上することができます。

夜間や休日なども稼働できるので、
従業員の残業や休日出勤を
減らすことができます。

ipaS (アイバス) の特長

デリバリーコンサルティングが提供するRPAソリューションの中核を成す業務自動化ツールです。人がシステム操作を行う場合は通常、PC上に表示されている情報を目で認識し、マウスとキーボードを使って適切な場所にデータを入力し、保存や印刷などの処理を行っています。ipaSは高度な画像認識機能により、人の目の代わりとなって適切な場所を認識し、対象となる画面のマウス・キーボードの操作を覚えさせることで、あらゆる業務を自動化することが可能となります。

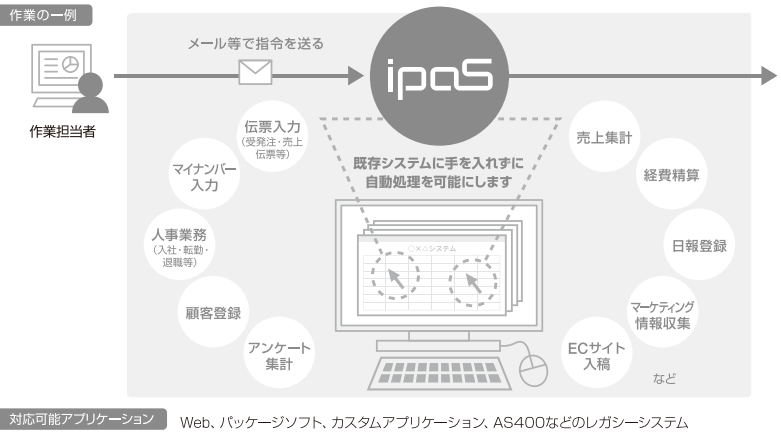
ライセンス種類と価格

ライセンス数に応じて個別にお見積りいたします。

動作環境

OS	Microsoft Windows7, Windows8, Windows10 ※32bit, 64bit 両対応
CPU	800MHz以上
メモリ	512MB以上
HDD	1GB 以上

※インストールするにはインストール端末に対する管理者権限が必要です。



● お問い合わせ

DELIVERY CONSULTING

株式会社デリバリーコンサルティング DELIVERY CONSULTING INC.

〒108-0074 東京都港区高輪1-3-13 NBF高輪ビル5F
03-6683-4474 / sales_tot@deliv.co.jp / www.deliv.co.jp

2017年12月作成

株式会社デリバリーコンサルティング所有 禁無断転載

厚生労働省委託事業

公益財団法人日本医療機能評価機構

Minds ガイドラインライブラリ



Powerd by 株式会社 Funkit

〒171-0022 東京都豊島区南池袋 2-12-1 佐伯池袋ビル 2F

☎03-5956-5035 ✓<http://www.funkit.co.jp>